

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ご家族様の意向や職員全員の意見を集約する仕組み作りができておらず、適切な介護計画書の作成ができていない。	ご本人様、ご家族様、全職員の意見を反映した介護計画書が作成出来ている。	○ご家族様については、計画作成担当者が介護サービス担当者会議への参加をお願いする書面を送付し、参加できない場合についても書面のやり取りや電話での話し合いを行ない意見や要望を聞きだしケアプランに反映していく。 ※来年1月から実施していく。 ○全職員については、計画作成担当者が毎月のユニット会議内で意見を集約しケアプランに反映していく。 ※来年1月から実施していく。	3ヶ月
2	10	運営についてご利用者様、ご家族様の意見を聞き出す場面としては、運営推進会議のみで、率直な意見が聞きだせていない。又、意見箱が生かされていない。	運営についてご利用者様、ご家族様の意見を聞き出す機会や場面が増え運営に反映できている。	○介護計画作成時のサービス担当者会議内で、運営に関する意見や要望もお聞きしていく。 ○ご家族様の面会時には、率直なご意見が必要な事の説明を行い、アンケート用紙をお渡りする。 ○聞き出せた意見については、ユニット会議内で報告。改善へ向けての検討を行い実践していく。	5ヶ月
3	6	平成28年8月以降、定期的な研修や取り組みが実施できていない。	年2回、定期に勉強会や取り組みを行えている。	管理者が主となり、今年度は1月に勉強会を行う。来年度からは年間計画を作成し、年2回定期に勉強会を開催していく。	15ヶ月
4	7	平成28年8月以降、定期的な研修や取り組みが実施できていない。	年2回、定期に勉強会や取り組みを行えている。	管理者が主となり、今年度は1月に勉強会を行う。来年度からは年間の勉強会計画を作成し、年2回定期に勉強会を開催していく。	15ヶ月
5	34	平成28年5月以降、定期的な勉強会や取り組みが行えていない。	年2回、定期に勉強会や取り組みを行えている。	主任が主となり、他職員の要望も取り入れながら勉強会を定期に開催していく。来年度からの開催として、年間の勉強会計画を作成し、年2回定期に勉強会を開催していく。	15ヶ月
6	35	地域との避難協力体制が確立できていない。	地域消防団と協力体制が確立し、防災避難訓練を一緒に行なっている。	来年度の、運営推進会議内で地元消防団の方をお招きし災害時の協力体制について話し合いを行ない、マニュアルに取り入れ実際に避難訓練を行なう。	7ヶ月
7	2	交流場面として、ホームの夏祭り、地域の清掃活動、老人クラブ交流会、地域のお祭りがある。交流の機会としては年間で6回程度で少ないと感じる。	今までの交流に加えて、新たな交流の機会が増えている。	ユニット会議内で、新たな交流の機会づくりへの検討を行ない、来年度の年間行事計画表の中へ取り入れる。	4ヶ月
8	20	ご利用者様個々の、馴染みの人や場所の情報収集が出来ていない。	馴染みの人や、場所の情報を収集でき、実際に出会えたり出掛ける事が出来ている。	介護計画作成の中でご本人様、ご家族様から情報を収集しケアプランへ反映したり、日々の活動へ取り入れていく。	3ヶ月